デジタルコンテンツ公開サービス事業の開始に向けて

NPO法人　広域連携医療福祉システム支援機構
理事　　沖　　眞
研究員　　川井　隆章
理事長　　周藤安造

コンテンツの無償公開サービス

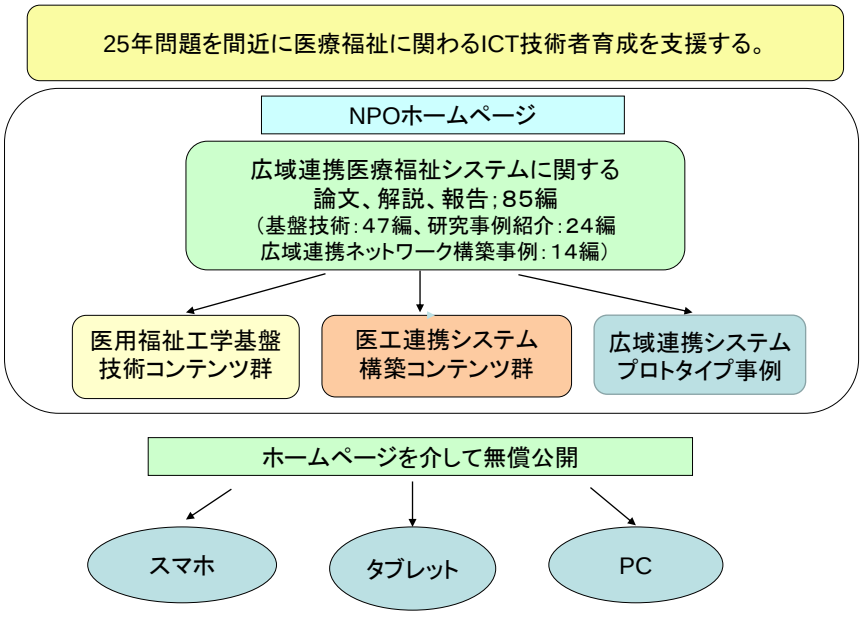
趣旨

- NPO法人GCMSは定款第5条7項で「 広域連携医療福祉ネットワークシステムに関する地域医療ICT人材育成事業」の推進を謳っている。
- NPO法人GCMSはこれまでに開催したGCM研究集会、交流フォーラム、分科会活動で蓄積された要素技術、医工連携に基づくシステム技術、および機関紙「れんけい」に掲載済み論文等のデジタルコンテンツが既に約100編近く保有している。
- 我が国も25年問題（2025年）を間近に控え、医療福祉に関わるICT人材の不足が懸念されており、これらのコンテンツをHPを介して無償で公開したり、デジタル出版することにより、医療福祉に関わるICT人材育成を支援する。

進め方（第一段階）

1. 各コンテンツ（論文、プレゼン資料など）を以下の3つのカテゴリーに振り分けて、公開サービス用のページを新設して、各コンテンツの掲載先とリンクしてダウンロード可能とする。
   - ・医用福祉工学基盤技術コンテンツ群（47編）
   - ・医工連携システム構築コンテンツ群（24編）
   - ・広域連携システムプロトタイプ事例（14編）
2. NPO, GCM会員間で実験的に試行して、評価・改善を行う
3. 一般公開して、SNSなどでもPRする
4. 各コンテンツのアクセスカウントを取る

デジタルコンテンツ公開サービス事業（第一段階）



医用福祉工学基盤技術コンテンツ群 (1)

医用福祉工学基盤技術コンテンツ群 (2)

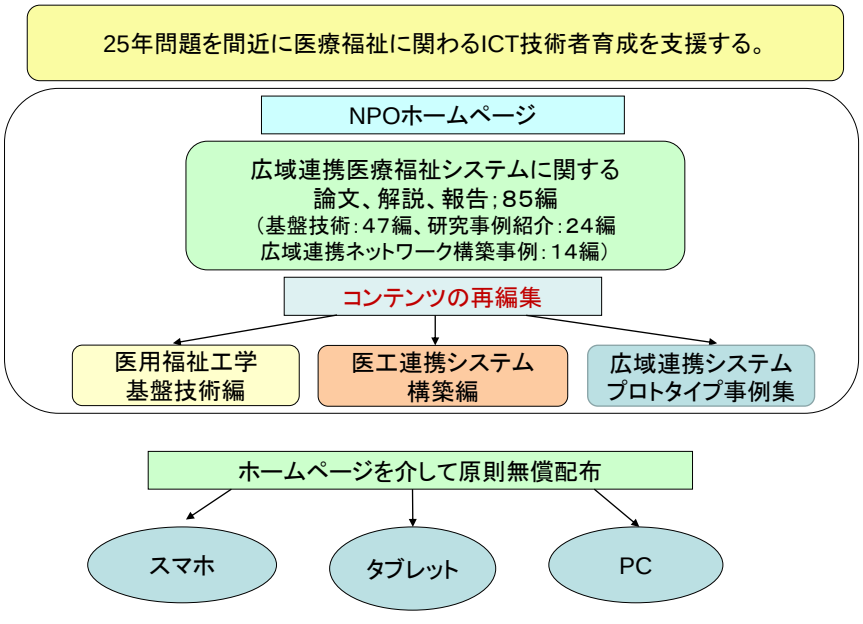
医工連携システム構築コンテンツ群

広域連携システムプロトタイプ事例

進め方（第二段階）

1. 公開されたコンテンツ群について、表紙、目次、まえがきなどを付け、著作物としての体裁を整えて以下の論文集としてデジタル出版する
   - ・医用福祉工学基盤技術編
   - ・医工連携システム構築編
   - ・広域連携システムプロトタイプ事例集
2. 各論文集をまとめて検索できるURL設定
3. 各論文集ごとにアクセスカウントを取る。
4. 当面は無償とする。

デジタルコンテンツ公開サービス事業（第二段階）



期待できる効果

1. NPO法人GCMSの活動と医療福祉系ICT人材育成支援事業（企業ICT技術者、大学学部・大学院生向け）がPRできる
2. デジタル出版事業(当面無償提供)を始めることでNPO/GCMの活動が広くPRされれば、会員増なども期待される。
3. また将来的には、コンテンツの有償化も検討し、 NPO収入の一環とする。

課題

1. コンテンツごとの有効性評価
   コンテンツ検索、閲覧頻度集計で評価
   サイト内検索、アクセス解析の利用
2. デジタルコンテンツ公開サービス事業の対外PR
   SNS(FaceBook)などの利用
3. コンテンツの著作権
   NPO法人GCMSホームページ上へのコンテンツ掲載の際、対策は講じている。

第一段階の試行開始に当たって
（構想）

1. 対象
   NPO社員、GCM会員など約20名程度
2. 開始時期
   2023年1月
3. 方式
   ID,パスワードを発行し、ログインしていただく
4. アクセスカウント
   アクセスされたコンテンツのカウントを事務局で集計する
5. 評価
   使い勝手やシステム運用などについてアンケート調査する

おわりに

ご清聴ありがとうございました。

NPO法人GCMS